

## 学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	白山高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・普通科/美術科
-----	--------	------------------	-------------

### 1 学校のミッション

複数の学科を併置する全日制高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

普通科においては、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な教育課程編成を行う。

また、専門学科においては、美術に関する専門教科・科目を中心に、専門性の向上を図る教育に重点を置いて、実際の・体験的学習を重視するとともに、共通教科・科目の適切な設置に基づいて教育課程編成を行う。

これまで、個性の伸長を図りながら、知育・徳育・体育の三分野にわたって、調和のとれた人間形成をめざして、基礎的・基本的な知識・技能を習得し自己実現を図るためのキャリア教育の実践に取り組んできたが、今後はさらに、聴く力やコミュニケーションを図ることによる自ら考え判断し表現する力を育成するための不断の授業改善の実施等、教育活動の充実に取り組む。

### 2 学校教育目標

- 社会を生き抜く知恵と心を持った人を育てる。
  - ・ 一人ひとりの能力・適性に応じた学びを通じて確かな知識と活用する力を育てる。
  - ・ ルールやマナーを守り仲間と協力しながら目標に向かって努力する力を育てる。
- 豊かな感性を身につけ社会に貢献できる人を育てる。
  - ・ 美術の専門的な内容を深く学び美術文化の発展に寄与する態度を養う。
  - ・ 日本の伝統文化や芸術に親しむ環境を整え生活や社会と豊かに関わる態度を養う。
- 地域と共にある学校づくりに取り組む。
  - ・ 地域との協働による生徒の安全・安心の確保と地域等と連携した学びを推進する。

### 3 計画策定時点での課題

- 美術科の入学選抜においては、常に高倍率を維持しており、美術科の魅力や実績が中学生に十分に伝わっていると思われる。一方で、美術科の教育課程を少人数で維持していくには困難も伴うことから、教育課程においては、その魅力を充実させることと、持続可能であることを両立させていく必要がある。また、専門学科としての美術科が有する施設・設備、文化や芸術に親しむ環境を生かすことができる普通科の在り方についても検討していく必要がある。
- 引き続き、キャリア教育の視点から学校生活・社会生活におけるルール・マナー指導に取り組み、自己管理力の育成を図るとともに、外部機関との連携を図りながら生徒一人ひとりの課題に対するきめ細かな教育相談体制を充実・発展させていく必要がある。
- 部活動の活性化や、文化祭や体育祭等の学校行事の充実が着実に進んでいる。部活動の定着率の向上を図り、生徒一人ひとりの自己有用感を高める取組を進める必要がある。
- 美術部・野球部・生徒会役員等による地域貢献は一定程度進んだが、防災教育や地域清掃といった活動を全生徒に広げ、地域から信頼される学校づくりを行っていく必要がある。

#### 4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<p>①基礎学力の定着を図る「学び直し」から、自ら考え判断し表現する力までを育み、普通科と美術科が相互に刺激し高め合うとともに持続可能な教育課程を編成、実施する。</p> <p>②「育みたい生徒像」を実現し、個に応じた学力を育成するためのICT活用を進め、組織的な授業改善を行う。</p> <p>③学校行事等をとおして、協働する力を育む。</p>	<p>①教育課程編成における工夫と、科目選択に向けた組織的な指導の充実を図る。</p> <p>②学習目標の達成に向けて個に応じた学習指導の充実を図り、組織的な授業改善を進める。</p> <p>③学校行事における生徒の主体的な企画・運営を推進し、リーダーシップや協調性を育む。</p>
2	生徒指導・支援	<p>①他者を認める寛容の精神と自らを律することができる自己管理能力を育てる。</p> <p>②生徒一人ひとりの課題に対するきめ細かな教育相談体制を充実・発展させる。</p> <p>③部活動・委員会活動やボランティア活動等をとおして豊かな人間性や社会性を育てる。</p>	<p>①基本的な生活習慣の定着と、ルールやマナーを守り仲間と協力しながら目標に向かって努力する力の育成をめざした生徒指導を推進する。</p> <p>②校内相談体制の充実を図り、外部機関との連携と個に応じた生徒の支援に取り組む。</p> <p>③部活動への興味・関心を喚起し、活性化と定着を図ることによって、豊かな人間性や社会性を育む。</p>
3	進路指導・支援	<p>①「未来に向けて自らをデザインしよう」をスローガンに、高い志を持って目標に向かい努力することによって自己実現を図る指導を行う。</p> <p>②美術科の専門性を生かした進路実現を支援する。</p>	<p>①インターンシップやボランティア活動をとおして、自己有用感を育むキャリア活動を推進する。</p> <p>①②3年間の指導計画による組織的な指導によって、生徒が明確な目標を持ち、夢に向かって挑戦する力を育む。</p>
4	地域等との協働	<p>①地域と共にある学校づくりを行い、広い視野を持ち、地域に貢献することによって自己有用感を育む活動を充実させる。</p> <p>②地域やPTA等との連携を図り、安全・安心で信頼される学校づくりに取り組む。</p>	<p>①地域や小・中学校等との連携により、生徒の自己有用感を育む活動を充実させる。</p> <p>②地域やPTA等との情報共有を密に行い、信頼される学校づくりを行うとともに、生徒の安全・安心を確保し、教育活動の充実を図る。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①教員が多様で複雑な生徒の課題に寄り添い向き合う時間を確保するため、組織的な学校運営と校務の効率化を図る。</p> <p>②在校生や中学生、保護者等や地域に向けた情報発信を充実させる。</p> <p>③事故・不祥事の根絶を図る。</p>	<p>①ルーティーンワークのマニュアル整備や定型化を進めるとともに、働き方改革についての意識啓発を行う。</p> <p>②学校説明会やホームページによる広報の充実を図る。</p> <p>③教職員一人ひとりが課題を自分事として捉え、課題の解消に主体的に取り組む不祥事防止活動を推進する。</p>